



広報紙Gyro(ジャイロ)は年2回発行しています。「ジャイロ」という名称は、国際交流について皆さんのジャイロスコア(羅針盤)になりたいとの思いから名付けました。



やさしい日本語PR動画撮影のワンシーン。皆さんの笑顔が素敵です！

やさしい日本語で 交流しよう！



『(公財)福島県国際交流協会は、2021年4月から『やさしい日本語*国際交流プロジェクト@ふくしま』を始動しました。外国人住民とのコミュニケーションツールとして、やさしい日本語を活用することで日常的な国際交流につながります。

らす日本人と外国人がやさしい日本語で共に学び、交流しました。「やさしい日本語交流員養成講座」では、やさしい日本語に関する学びの場を提供し、自発的な実践と普及を担う人材を育成しました。わたしたちは、誰もが自分らしく暮らし、多文化が共生する社会の実現に向けて、これからもさまざまな活動に取り組んでいきます。

プロジェクトの協働パートナー(敬称略) 2022年2月現在

(株)東邦銀行、福島国際交流事業協同組合、福島民友新聞社、(公財)栃木県国際交流協会、(公財)いわき市国際交流協会、福島市国際交流協会、郡山市国際交流協会、会津坂下町国際交流協会、福島市、郡山市、南相馬市、本宮市、福島県



PR動画を撮影したよ！

2022年3月、福島県内在住の外国出身の方に集まっていただき、やさしい日本語を普及するための動画を撮影しました。完成した動画をぜひご覧ください！



やさしい日本語
オリジナルPR動画